

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】令和3年10月14日(2021.10.14)

【公開番号】特開2021-108158(P2021-108158A)

【公開日】令和3年7月29日(2021.7.29)

【年通号数】公開・登録公報2021-033

【出願番号】特願2021-53076(P2021-53076)

【国際特許分類】

G 06 F	30/10	(2020.01)
G 06 T	19/20	(2011.01)
G 06 F	3/0484	(2013.01)
G 09 G	5/38	(2006.01)
G 09 G	5/00	(2006.01)
G 09 G	5/36	(2006.01)

【F I】

G 06 F	17/50	6 1 4 D
G 06 F	17/50	6 1 0 C
G 06 T	19/20	
G 06 F	3/0484	1 5 0
G 09 G	5/38	Z
G 09 G	5/00	5 1 0 H
G 09 G	5/00	5 5 0 C
G 09 G	5/36	5 1 0 V

【手続補正書】

【提出日】令和3年8月31日(2021.8.31)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

第一の三次元モデルと、第二の三次元モデルとで差がある箇所を特定する特定手段と、仮想空間上の、前記第一の三次元モデルと前記第二の三次元モデルとは独立した位置に、前記差がある箇所の三次元モデルである第三の三次元モデルを表示すべく制御する表示制御手段と、

を備えることを特徴とする仮想空間制御装置。

【請求項2】

前記表示制御手段は、

前記第三の三次元モデルを表示するとともに、

前記第一の三次元モデルと前記第二の三次元モデルとの少なくとも一方を表示すべく制御することを特徴とする請求項1に記載の情報処理装置。

【請求項3】

前記表示制御手段は、

前記第一の三次元モデルと前記第二の三次元モデルとの少なくとも一方を表示した仮想空間上の前記独立した位置に前記第三の三次元モデルを表示すべく制御することを特徴とする請求項2に記載の情報処理装置。

【請求項4】

前記表示制御手段は、

前記第一の三次元モデルと前記第二の三次元モデルの双方を表示した仮想空間上の前記独立した位置に前記第三の三次元モデルを表示すべく制御することを特徴とする請求項2に記載の情報処理装置。

【請求項5】

前記表示制御手段は、

前記第三の三次元モデルを表示するとともに、

前記特定手段で特定された前記差がある箇所を識別表示した前記第一の三次元モデルと

、前記特定手段で特定された前記差がある箇所を識別表示した前記第二の三次元モデルと

の少なくとも一方を表示すべく制御することを特徴とする請求項1乃至4のいずれか1項に記載の情報処理装置。

【請求項6】

前記第一の三次元モデルおよび前記第二の三次元モデルは、複数の部品から構成される三次元モデルであって

前記特定手段は、前記第一の三次元モデルと前記第二の三次元モデルとで差がある部品を特定し、

前記表示制御手段は、仮想空間上において、前記第三の三次元モデルとして、前記特定手段により特定された前記差がある部品の三次元モデルを表示すべく制御することを特徴とする請求項1または2に記載の情報処理装置。

【請求項7】

前記差がある箇所とは、前記第一の三次元モデルと前記第二の三次元モデルとの間で設計変更がなされた箇所であることを特徴とする請求項1乃至6のいずれか1項に記載の仮想空間制御装置。

【請求項8】

前記差がある箇所とは、前記第一の三次元モデルと前記第二の三次元モデルの一方にのみ存在す部位であることを特徴とする請求項1乃至7のいずれか1項に記載の情報処理装置。

【請求項9】

前記差がある箇所とは、前記第一の三次元モデルと前記第二の三次元モデルとで位置姿勢が異なる部位であることを特徴とする請求項1乃至7のいずれか1項に記載の情報処理装置。

【請求項10】

前記第三の三次元モデルを、現実空間における移動可能なターゲットマークに対応する位置に表示すべく制御することを特徴とする請求項1乃至9のいずれか1項に記載の情報処理装置。

【請求項11】

情報処理装置の制御方法であって、

第一の三次元モデルと、第二の三次元モデル第二の三次元モデルとで差がある箇所を特定する特定ステップと、

仮想空間上の、前記第一の三次元モデルと前記第二の三次元モデルとは独立した位置に、前記差がある箇所の三次元モデルである第三の三次元モデルを表示すべく制御する表示制御ステップと、

を含む情報処理装置の制御方法。

【請求項12】

コンピュータを、請求項1乃至10のいずれか1項に記載された情報処理装置の各手段として機能させることを特徴とするプログラム。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 1

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【0 0 1 1】

本発明は、第一の三次元モデルと、第二の三次元モデルとで差がある箇所を特定する特
定手段と、

仮想空間上の、前記第一の三次元モデルと前記第二の三次元モデルとは独立した位置に
、前記差がある箇所の三次元モデルである第三の三次元モデルを表示すべく制御する表示
制御手段と、

を備えることを特徴とする。